

津波から身を守ろう

津波警報・注意報の種類

津波の発生が予想される場合、気象庁から発表

危険度 ← 低 高 →

※大津波警報【特別警報】が発令された場合には、想定外の高さの津波がくる恐れがあります。すべての地区において、ただちに高台や安全な避難場所に避難してください。

		津波注意報	津波警報	大津波警報【特別警報】		
津波の高さ	数 値 (高さ予想)	1m (0.2m以上 ～1m未満)	3m (1m以上 ～3m未満)	5m (3m以上 ～5m未満)	10m (5m以上 ～10m未満)	10m超 (10m以上～)
		—	高 い	巨 大		
取るべき行動	海岸堤防より 海側にいる人	海の中にいる人は、ただちに海から上がり海岸から離れる その後、近くの避難場所や高台に避難する				
	海に面する コミュニティ地区のうち 浸水が想定 されるエリア	慌てず、2波 3波に備え て避難の準 備を行う	ただちに高台や安全な避難場所に避難する 警報が解除されるまで自宅に戻らない			
	海に面する コミュニティ地区のうち 浸水が想定 されないエリア 海に面していない コミュニティ地区	●津波に対して無理に避難 する必要はない ●地震により家屋の倒壊な ど不安な方はコミセン、 小・中学校などの指定避 難所へ	ただちに高台や安全な 避難場所に避難する			

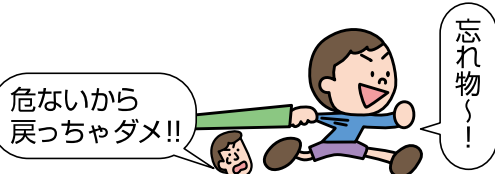
⚠ 津波の避難時に注意すべきこと ⚠

⚠ 海や川に近づかない

津波は河口から川をさかのぼり、堤防を越えてくる恐れがあります。

⚠ 避難したら絶対戻らない

津波は1回だけではなく第2波、第3波と繰り返し襲ってくるため安全な場所に留まることが大切です。



⚠ 岩場や堤防など硬いものから離れる

岩やコンクリートに衝突し、気絶したり、負傷し水死するケースがあります。



⚠ 浮き具の準備をしましょう

- 救命胴衣(ライフジャケット)
- 浮き輪
- 水に浮きやすいダウンジャケットなど



津波は原則 徒歩避難！

高齢者、妊産婦、乳幼児、障がいのある方など、徒歩での避難が困難な方は車避難もやむを得ませんが、道路被害のリスクを考慮してください。

安全な逃げ方

- 海や砂浜、浸水想定区域にいる方は、直ちに避難しましょう
→目指すのは**安全な高台や指定緊急避難場所**



リスクのある逃げ方

- 車での避難行動は二次災害リスクもあります

地震発生後は道路破損、地割れにより事故の可能性が高くなります

渋滞発生により、逃げ遅れる恐れがあります

避難先車中でのエコノミークラス症候群の危険性があります

- 浸水が想定されないエリアにいる場合、無理に避難をしないことも大切な避難行動の一つです。
- テレビなどの「逃げろ」といった情報により車で遠方に避難したくなりますが、本当に自分や家族の命を守るためには、冷静な判断が必要です。

！ 避難が遅れた時に注意すべきこと ！

！ 津波から逃げ遅れたら

- 近くの丈夫な建物の上層階に避難しましょう
- 手近にある場合には、救命胴衣（ライフジャケット）や水に浮きやすいダウンジャケットを着用しましょう



！ 津波に巻き込まれたら

- 浮いて待つ・・・仰向けで「背浮き」を行い、落ち着いて呼吸を続けて救助を待ちましょう
- 近くにある浮くものにつかまりましょう（浮き輪、ロープ、棒切れなど）

